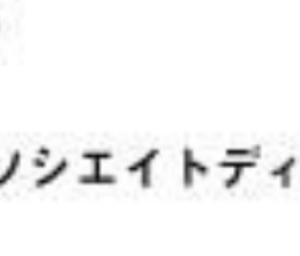


木素エネルギー社会と
燃料自動車
日本総研の眼

進的な取り組みを紹介した。今回は燃料電池自動車の普及促進に取り組む米国カリフォルニア州の動向を取り上げたい。

だんの こういちろう
段野 孝一郎
日本総合研究所
総合研究部門
クタ



Station Location) では、米国内に存在する水素を含む代替燃料ステーションの所在地を一覧することができ、2014年8月時点で全米1万4614力所の供給ステーションが整備されている。このうち、現在導入済みの水素ステーションは53力所(うちパブリック用途は12箇所)、計画中の水素ステーションは48力所(うちパブリック用途は43力所)となっている。現存する水素ステーションを州別に見ると、カリフォルニア州が最も導入に積極的であり、現在までに21カ所の水素ステーションを導入済みである。

リスクマネー

年度末までに水素ステーションを50カ所整備すれば、同州内で約7500台もの燃料自動車の導入が期待できることとなる。